

楽しいよ！学校図書館！



11 月

大阪市立東生野中学校

学校司書：日置智子

秋になると、夕焼けがとてもきれいです。

夕方には、校舎と夕焼けがよく映えていろいろな部活の声と

共に、時計の針がゆっくり動いているような錯覚を覚えます。

他の季節にはない、懐かしい気持ちになりませんか？

秋はどの季節よりも、読書がよく似合います！

教室で、校庭の端っこで、図書館で、公園の待ち合わせで

本を片手に時間を忘れてみませんか？



読書の秋



【秋のおすすめは、やはり古典！ クラシックですね！】

【西洋の古典】

古典と言うのかどうか議論が分かれるかも…

① 『赤毛のアン』 L・M・モンゴメリ：作
一度は行きたい、プリンス・エドワード島！
ストーリーも興味深い。でも、中身は深い！！

② 『車輪の下』 ヘルマン・ヘッセ：作
何と言っても、主人公が同年代の小説は
時代を超えて、気持ちがわかります。
悩みを持つのも、同じ。是非、一読を！！

③ 『トム・ソーヤの冒険』
マーク・トウェイン：作

あまりにも有名な冒険物語。続編は『ハックル
ベリー・フィンの冒険』これらの本を手にとって
本の世界にはまる子も多いです！

とても読みやすい本を紹介してみました。物足りない人は、カウンターに来て直接聞いてくださいね！

【東洋の古典】

これは、選択肢が多く、非常に紹介が難しい！
そこで、中学で習う『古文』に出てくるものを
図書館の本で読めば、しっかり理解できると
思うので紹介します！

① 『平家物語』
古典の中でも、冒頭の一文は誰もが口ずさんだこ
とがあるはず…。それでも、途中からあやふやに
なるのでは！？図書館には平家物語がたくさん
あります。おすすめは、中公文庫。くもん出版、
ポプラ社。ざっと読み比べるのも面白いですね。

② 『万葉集』
同じく何冊かあります。気になる本を読んでみて
ほしいです。

③ 『百人一首』
毎年のかるた大会に備えて準備してみては？
『ちはやふる』でテンションアップしても…。

【更に、おススメの本】

図書館だから、絶対に本を読まなくてはいけない！！ってことはありません。

見て楽しむ本、作って楽しむ本、やってみて楽しむ本もあります。

アートな貴方や、アクティブな貴方にもおススメしたい本はたくさんあります！

【アート派】

アートは苦手な人も、これで得意になれる！？
すぐに使える、役立つ本です。

黒板アートは、ホントは内緒にしたい本かも…。

『和装キャラクターの描き方』

ユニバーサル パブリッシング:著 (誠文堂新光社)

『初めてでもできる！『黒板アート』の描き方事典』

小野大輔:著 (明治図書)

『写真みたいな絵が描ける 色鉛筆画』

三上詩絵:著 (日本文芸社)

【ハンドメイド派】

そりゃ、時間をかけて手作りすれば勿論おいしいご飯
ができるけど、楽ちんで美味しかったら最高！
やってみたらおうちで感謝、感激されるかも！？

『世界一美味しい手抜きごはん』

はらぺこグリズリー:著 (KADOKAWA)

【アクティブ派】 TRY&ERROR! &SUCCESS!

何でもやってみることが大事。うまくいくことも、失敗
することも、どちらもあなたの貴重な経験になります。
やってみた人だけに成功(勝利)の喜びがあります！
やりたくなったらチャレンジしてみよう！

『部活で差がつく！勝つ卓球』

長谷部 攝:著 (メイツ出版)

『バスケットボール魔法の1on1レッスン』

中川直之:著 (エクシア出版)

『僕に居場所をくれたスケートボードが

これからの世界のためにできること』

SHIMON:著 (ぴあ)

ラグビー、ソフトテニス、体操、硬式テニスなどの本も、
レジェンドたちの本もあります！

◎今、話題の8冠！デビューは14歳、中2でした。

『藤井聡太の鬼手』

日本将棋連盟:編 (マイナビ出版)



読書の秋、とは言え少し気を付けてほしいこともあります。

それは、本を読むときの周りの環境などです。

本を読むときは、一定の明るさのあるところで、本との距離を保ち、良い
姿勢で読んでください。そうしないと、目が悪くなったり、身体が痛くなっ
たりします。勿論、読書以外の時もそうですが、育ち盛りの中学生です！
視力なども注意していないとすぐに悪くなってしまいます。

皆さんの心身ともに健やかな成長が何よりも大切です。

そして、図書館はあなたの心身の成長をきっと力強くサポートできます。
もっともっと図書館に来て、自分の心と体の栄養補給をしてください。

お昼休み、図書館で待っていま～す！！

